

マレーシア日本国際工科院（MJIT）教員短期派遣に関する募集要項

2014年6月12日
外務省南東アジア第二課
MJIT コンソーシアム
技術経営学小委員会幹事校山口大学

下記の要領で UTM-MJIT への短期派遣教員を募集します。

I. MJIT の趣旨・経緯及び教員派遣の目的

1 MJIT の趣旨・経緯

マレーシア日本国際工科院（MJIT）は、マレーシアにおいて日本型工学教育を行う高等教育機関であり、以下の趣旨・経緯により設立された。

- (1) マレーシア政府は、マレーシア工科大学（UTM）の下に、独立性の高いインスティテュートとして、MJIT の設立を計画し、2011年9月12日に開校した。
- (2) MJIT は、マレーシアが過去30年近くにわたり進めてきた「東方政策」の集大成とも言えるべき日本-マレーシア間の象徴的な重要プロジェクトであり、このような人的・知的交流は両国関係をより強固にする礎となる。こうした認識の下、我が国政府はマレーシア政府と協力して、政府レベルでの協力及び大学間協力の促進を図っている。
- (3) MJIT に協力する日本国内の大学は、日本大学コンソーシアム（JUC）を形成し、その下で MJIT の教学・研究・経営等、全体の運営に関する提言や、教員派遣及びその支援を行っている。

2 教員派遣の目的

上記1の MJIT の設立の趣旨に基づき、以下の目的（1）及び（2）を実現するため、JUCメンバー大学の教員を長期派遣することを原則とする。しかし、現役世代の教員派遣の可能性を拡大するために、MJIT の要請に対して長期派遣教員を充足できない場合において、JUCメンバー大学から短期派遣を行う。

- (1) ASEAN 地域における日本型工学教育を担う新たな中核的研究教育拠点として MJIT を整備し、高い技術と研究能力とともに優れた労働倫理を備えたグローバル人材を育成する。
- (2) 上記（1）のため、MJIT における講座の確立及び継続的かつ健全な運営を実現する。

3 MJIT の求める人材

MJIT は主に以下の MJIT 行動計画に資する日本人教員を求めています。

- (1) ニッチ及び産業分野における大学院教育に焦点を置く。(日本の先進技術・工学に基づく基盤技術。マレーシア及び ASEAN が求める先進技術・工学。日本の先進技術・工学に基づく基盤技術を育成する。)
- (2) 日本の大学とのジョイントディグリー又はダブルディグリーの構築。
- (3) ASEAN、中東、日本への教育・研究プログラムのグローバル化。
- (4) 日本型工学教育の導入。特に講座制度と知識・経験・自学 (KES : Knowledge-Experience-Self Learning) のサイクルの確立。
- (5) 日本の大学との研究協力や共同研究の推進。
- (6) 日本人教員とマレーシア人教員との協力。
- (7) 教員及び学生の相互派遣の推進。
- (8) マレーシアと日本との間の連携枠組みの確立。
- (9) MJIT における研究機材の充実化。
- (10) 産学連携の推進。
- (11) マレーシアを始めとする ASEAN における他大学との国際共同利用施設としての活動。

I I. 募集内容

1 募集人数

1名

2 担当科目

MJIT の要望による以下の講義科目

Business and Intellectual Property Law

3 担当業務

- ア 上記講義科目の担当
- イ 講座の立ち上げ、運営の支援 (協力メンバーとしての参画)
- ウ MJIT 大学院学生の共同指導
- エ その他 MJIT と JUC が合意する TOR

4 勤務場所

マレーシア工科大学クアラルンプール・キャンパス内 MJIT
技術経営学科 (MOT 学科)

5 待遇

待遇及び職務については、UTM/MJIT の定めるところによります (待遇概要及び決定に係るプロセスは、「MJIT 短期派遣教員の職位・待遇に関する手引き」参照)。

6 契約期間

契約期間は以下のとおりです。

MJIT との契約期間は原則 3 年間とする。

7 派遣期間

派遣期間は以下のとおりです。

原則 1 ヶ月以上の派遣を、契約期間中に複数回行うこととする。

8 条件

派遣条件は以下のとおりです。

- ア 原則として着任時 60 歳以下であること（ただし、MJIT との協議によってはこの限りでない）。
- イ 原則として博士の学位を有すること（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）。
- ウ JUC メンバー大学の常勤教授、常勤准教授又は 3 年以上の実務経験のある常勤助教とする。
- エ 上記 3 に関連する実績を有すること。
- オ MJIT での教育・研究及び学生中心の新しい工学教育研究体制の確立並びにその実施に関心及び情熱を有すること。
- カ 国際協力、特に海外の大学との協力の経験を有することが望ましい（JICA 事業を含む）。
- キ 心身ともに健康であること（UTM/MJIT によって健康診断書による審査が行われる）。
- ク 業務遂行に必要な英語力を有すること。
- ケ 教育上の優れた能力を有すること。
- コ マレーシアその他 ASEAN 地域の研究者又は技術者との共同研究等の活動実績があることが望ましい。
- サ 日本国籍又は日本の特別永住者資格を有すること。

9 提出書類

応募に際しては、以下の書類を提出してください。（英文）

(1) 履歴書（別添フォームに記入。）

記入に当たっては、以下について英文で記入してください（(b)～(d)については、可能な限り詳細に記載のこと）。

(a) 名前、年齢・生年月日、出生地、国籍、宗教、既婚・未婚の別、性別、連絡先（職場及び自宅）、専門分野、学位、学歴、職務歴、賞罰

(b) 活動実績報告

研究実績、教育実績（修士・博士指導人数、英語での講義実績）、学会及び社会における活動（所属学協会及びその学協会での役員・委員歴、国際会議委員歴、

受賞歴等)、産学連携実績、大学運営実績。特に、マレーシアを含む ASEAN 地域の研究者ないしは技術者に行った共同教育・研究事業の実績 (コンサルタント、JICA 専門家等としての実績を含む)。

(c) 研究業績目録

業績 (学術論文、原著・編著書、総説・学術資料等の名称、発行年月、発行所・発行雑誌等)、国際会議・学会発表 (演題名、発表者、学会名、発表年月等)、特許等を分類別に明記すること。

(d) 科学研究費、共同研究・受託研究等の競争的研究資金の獲得状況 (代表者分のみ)

(e) 2名以上のレファレンスの氏名、所属、連絡先。

(2) MJIT での教育・研究活動への抱負

募集要項との整合性、講座確立の展望、講座確立に向けた派遣元大学及び協力大学との連携体制、国際産学連携体制、大学院教育実施体制並びに講座制に基づく学部教育への貢献の内容について、A4 で英文 1～2 枚程度にまとめる。

なお、コンソーシアムからの推薦決定後、カバーレター、戸籍謄本又はパスポート写し (又は在留資格証明書等) 及び健康診断書を提出する必要があります。

9 応募締切り等

応募締切りは以下のとおりとします。

2014年 7月 6日 (日)

書類については、毀損や改変を防ぐため、PDF 化し、技術経営学小委員会事務局あて提出願います。

事務局：山口大学工学部総務企画課総務企画係 en282@yamaguchi-u.ac.jp

※メールタイトルに【2014 年度技術経営学短期派遣教員応募 (氏名)】と記載願います。

10 備考

- ・ 面接等のため、関係学科別小委員会に御出席いただくことがあります。
- ・ 学科別小委員会は、MJIT コンソーシアムの四つの下部組織であり、書類審査及び面接により当該分野の派遣教員候補を同コンソーシアムに推薦することを役割とします。同コンソーシアムが派遣教員候補者として了承した後、UTM が最終的な派遣教員を決定します。
- ・ 提出された書類は、厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。また、提出いただいている資料に含まれる個人情報、選考以外の目的には使用いたしません。
- ・ 応募書類は原則として返却いたしません。

【別添】

- 1 M J I I T短期派遣教員の職位・給与に関する手引き
- 2 履歴書 (Curriculum Vitae) フォーム

(了)